

令和4年度 学校評価結果公表シート

学校法人廣瀬学園
認定こども園 東よさみ幼稚園

保育教育目標	かがやく瞳にであいたい。ゆたかなところを、そだてたい 清く ■かがやく瞳 正しく ■ゆたかな心 たくましく ■のびゆく身体
保育教育方針	「自立心 自主性の育成（生活習慣の充実と安心安全に努める）」 考えられる子 できないと思ってもあきらめず最後までやりぬく子
保育教育の特徴	健康な心身をつくる（体育遊び、乾布摩擦を通して） 人とかかわる力を養う（異年齢保育や、先生との交流を通して） 自然や社会の身近な環境に親しむ（栽培や飼育活動や行事を通して） 豊かな感性、創造力、表現力を養う（教材、音楽、造形活動を通して） 「6つの心」が自然と身につくように育てる（社会・言葉を通して）
	「おはようございます」という 明るい心 ・「はい」という 素直な心 ・「すみません」という 反省の心 ・「わたしがします」という 積極的な心 ・「ありがとうございます」という 感謝の心 ・「おかげさまで」という 謙虚な心

重点目標

幼保連携型として乳児（0～2歳）の育ち、すなわち生活習慣の充実から、幼児（3～5歳）の教育。自ら考え行動し、表現できる子どもへの育ちの育成に務める。また6つの心の育ちから、自ら考え行動できるようにすること、自主性と自立心を身に付けさせることを重点目標とする。

1. 教育課程の構成と実施

園の経営方針や教育目標について、職員共通の理解はされていますか	○
幼稚園教育要領の理解は職員全員になされていますか	○
幼児の育ちのみとりと理解（個人・集団）、教材研究はできていますか	○
上記をうけて指導計画（年間・週案など）が作成され、教職員間の協力の下に実行されていますか	○

2. 小学校と連携

行事などを通して幼児と児童の交流を行っていますか	△
教師同士の意見交換や合同の研究会を行っていますか	△

3. 保健管理

日常の子どもたちの健康観察や疾病予防を行っていますか	○
学校保健法、幼稚園設置基準にのっとり安全管理、衛生管理を行っていますか	○
健康管理、感染症対策マニュアル等、園の対応は大丈夫ですか	○
家庭や地域の保健機関との連携はできていますか	○

4. 安全管理

不審者対策は行っていますか	○
火災・自然災害（地震・津波・台風・大雨等）に関する対策は行っていますか	○

5. 特別支援教育

医療、福祉など関係機関との連携は行っていますか	○
支援のための園内環境（人的・物的）は整っていますか	○
研修会を行っていますか（園内・園外）	○
家庭との連携をはかっていますか	○

6. 組織運営

園の明確な運営体制・責任体制ができていますか	○
良好なクラス運営がなされていますか（職員と子ども、保護者との関係他）	○
個人情報など情報管理はきちんとされていますか	○
財務管理業務はきちんとされていますか	○

7. 情報提供

園だよりや学級便りなどを定期的に保護者向けに出していますか	○
HPなどの活用により家庭や地域に情報を提供したり、収集したりしていますか	○
幼児の個人情報はきちんと保護されていますか	○

8. 保護者・地域住民との連携

地域の自然や伝統行事など教育資源として活用していますか	△
地域の人材活用など行っていますか	△

9. 子育て支援

地域の幼児教育のセンターとして教育相談等を行っていますか	○
地域や保護者の実情や要望による幼稚園の子育て支援活動を行っていますか	○

10. 預かり保育

職員の理解、協力の下に負担なくできていますか	△
------------------------	---

新型コロナウイルス対策への評価

評価項目	自己評価	評価結果についての 教職員等の主な意見	次年度の解決策
保育室や手洗い場を清潔に保ち、日々の手指の消毒や食事の時のパーテーションの設置、消毒を行う	○		
手洗いの大切さや方法を教え、子どもたちが自ら取り組むようになる。(年少、年中、年長)	○		
行事の際の感染防止対策	○		
バスによる移動時は、座席が密集しないように、余裕のある人数で乗車するようにする	○		
行事の際は、来場者の検温や手指消毒を行う	○		
多くの人がさわる部分をよく消毒する	○		
不特定多数の人が集まる行事は見合わせ、一部の役員や園児のみの開催とする	○		
全園児による行事は、学年やクラスごとの分散形式で行う	○		
必要に応じて行事の様子をリモート配信する	×	行っていない	
トイレの掃除を1日1回行うようにし、チェックシートに記入する	○		
職員一人ひとりが自分の健康管理を十分に行うようにする	△	職員の家族がコロナに感染することもあった	
職員のワクチン接種（希望者）	○		

今後取り組むべき課題

1	指導計画の作成と評価	<p>人と関わる力を育てる『協同して遊ぶ経験』など教育保育課程の工夫を実践できるよう、これまで以上により具体的な保育カリキュラムの構築に取り組んでいきたい。</p> <p>引き続き、考える力を養うなど園児の主体性を育ていけるような教育保育実践を継続的に行い次の学年へ円滑な連携ができるよう情報の引き継ぎにも重点をおきたい。</p> <p>特別な支援を必要とする園児に対する個別の指導計画においては引き続き一人ひとりの実態把握をしっかり行い、計画を立てると共に評価、次年度への引継ぎに重点を置く。</p>
2	研修・研究への取組	園外の研修については、教員が主体的に、自分の苦手とする分野や興味のある分野について多岐にわたる内容を受講したあと、職員会議でレポート

		<p>などを作成回覧し、教職員間で学びを共有している。教職員間での学びの共有が乏しく園内研修において発表や意見交換の機会を設けるなどの工夫が必要であり、今後も続ける。このような発表の機会は、発表を聞いている教職員の学びを促すだけでなく、発表者自身の学びを向上させることが期待できるので、日常の業務において時間的制約はあるが進んで取り組む。スキルアップ研修も含め研修には重きを置いていく。</p>
3	安全管理体制の整備	<p>避難訓練、交通安全講習、具体的な防犯訓練の実施、救命救急講習の受講は引き続き実践していくが、さらに、大型地震や津波などにも備えた緊急時対策について地域と連携し、より緻密な計画を立てたい。</p> <p>また各マニュアルの整備を進めたい。</p>
4	保護者に対する情報発信	<p>例年通り保育目標や内容、子どもの活動については、園便りやクラス便りなどの手紙、そしてインターネットのホームページなどを活用し保護者に対して情報を発信している。保護者からもっと幼稚園の保育について伝えてほしいという要望もあり、また保護者同士の交流を希望される声も聞かれたので、検討していきたい。</p>

学校関係者評価

令和4年度はコロナがだいぶ緩和されたが、引き続き対策を取りながらコロナ前の行事など体制を戻していき令和5年度につなげたいと考えている。1号認定の子どもが少し減少傾向にあるようであるが、努力して維持しようとされている。夕方から職員が手薄との声もあり、課題としてほしい。